

助産雑誌 Back Number

バックナンバーのご案内

2012 年 7 月号

特集 助産師と会陰裂傷縫合

これまで可否が明確にされてこなかった、助産師による会陰裂傷縫合。厚生労働科学研究での会陰裂傷縫合に関する報告や、教育現場で卒業時到達目標に挙げるなど、新しい動きがあります。裂傷させない技術も意識しながら、現場での取り組みをご紹介します。



2012 年 6 月号

特集 東日本大震災の記録

私たちの記憶に深く刻まれた 3 月 11 日から 1 年以上が経ちました。今後も起こるであろう震災に備えて記録し、伝えていくことが、未来のために必要なことだと思います。助産師として何ができたか・何ができるか——記録から学ぶ特集です。



2012 年 5 月号

特集 正しい情報を得て、続けよう
出生直後のカンガルーケア

出生直後の母子の皮膚接触は、体温の安定や母乳育児の推進に大きな効果があります。事故がたびたび報道されていますが、直接の原因がほかにある事例もあるようです。報道に惑わされず、きちんとしたケア体制のもとで続けていただきたいと思いまとめました。



2012 年 4 月号

特集 働くお母さんの
妊娠・出産・母乳育児を支援する

妊娠中や産後の生活において「仕事」が大きな位置を占めているという事実を意識することで、アセスメントの視点や保健指導の内容が変わってきます。今回は「勤労者」に的を絞り、健やかな妊娠・出産・母乳育児のための支援について考えます。



2012 年 3 月号

特集 周産期ハイリスクケアの構築

ローリスク妊産婦を対象とした助産外来・院内助産の必要性が高まる一方で、ハイリスクとなる母子も増えています。そのような妊産婦には、医療だけではなく心理的・社会的にも特有のケアを考えていく必要があります。ハイリスクケアの方向性を探ります。



2012 年 2 月号

特集 分娩時の“いきみ”について考える

自然なお産に産婦の“いきみ”は必要なのでしょうか。また、有効なタイミングや、分娩スタイルによっても違いはあるのでしょうか。いきむことへの声かけや、産婦それぞれの“いきみたい感覚”を大切に、よりよいお産を導く分娩時のケアについて考えます。



2012 年 1 月号 特集 入院の短期化に伴う母乳育児支援

2011 年 12 月号 特集 感染対策どうしていますか 正常妊産婦・新生児の院内感染管理

11 月号 特集 1 ICM 大会 2011 レポート 特集 2 母子の健康と環境影響

10 月号 特集 女性と乳がん プレスト・アウェアネスを助産実践に活かす

9 月号 特集 現場からの変革 専門看護師、チームとともに挑戦中!

8 月号 特集 妊娠と糖尿病 求められる新たな視点からの支援

バックナンバーの
取り扱いについて

① 2010 年 8 月号以降の雑誌は、弊社販売部 (TEL : 03-3817-5659, 5660) にて承ります。

② それ以前のものについてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック 〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-13-4 TEL : 03-3985-4701 FAX : 03-3985-4703